

令和6年度 政治経済 シラバス

| | | | | | |
|--|--|---|---|--|------------|
| 科目名 | 政治経済 | 単位数 | 2単位 | 対象 部・年次 | 1・2・3部 4年次 |
| 使用教材 | | | | | |
| 教科書等 | 『最新 政治・経済 新訂版』(実教出版) | | 副教材 | なし | |
| 学習の目標 | | | | | |
| <p>広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。</p> | | | | | |
| 学習計画 | | | | | |
| 学期 | 学習内容 | | 学習のねらい | | |
| 前期 | 第1編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法と基本的人権 第3章 日本の政治制度と政治参加 第4章 現代の国際政治 第5章 日本の平和主義と国際平和 | | 現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心をもち、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解するとともに、民主政治の本質について把握し、政治についての基本的な見方や考え方を身に付ける。 | | |
| 後期 | 第2編 現代の経済 第1章 現代の経済社会 第2章 現代の日本経済と福祉の向上 第3章 現代の国際経済 第3編 現代社会の諸課題 | | 現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解するとともに、その特質を把握し、経済についての基本的な見方や考え方を身に付ける。 政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深める。なお、教科書の内容のうちいくつかを取り上げて学習する。 | | |
| 観点別評価及びその配点 | | | | | |
| 観点 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 | |
| 趣旨 | 政治・経済・国際関係について関心を持ち、よりよい社会を目指す態度を身につけている。 | 政治・経済・国際関係に関わる課題を見出し、広い視野で考察し、公正に判断できている。 | 政治・経済・国際関係に関わる資料から有用な情報を選択、活用できている。 | 政治・経済・国際関係に関する基本的な事柄、概念や理論を理解し、その知識を身につけている。 | |
| 評価の方法 | 授業への出席 授業態度・取組状況等 | 授業プリント 授業中の活動 課題等 | 授業プリント 授業中の活動 課題等 | 定期考査 北高検定 その他 | |
| 配点(pt) | 200 | 100 | 100 | 600 | |
| 評価 | | | | | |
| <p>観点別評価の合計点(1000pt)により、10段階評価を行う。詳細および変更については授業時間中に連絡する。</p> | | | | | |
| 学習のアドバイス等 | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 普段の授業を大切にしてい意欲的に取り組み、ノート、プリント、課題等も確実にこなすこと。 2. 普段のニュースなどにも気を配り、学習内容を生かすこと。 3. 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。 | | | | | |

令和6年度 地理A シラバス

| | | | | | |
|--|-------------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------|--------------|
| 科目名 | 地理A | 単位数 | 2単位 | 対象部・年次 | 1・2部 3・4年次選択 |
| 使用教材 | | | | | |
| 教科書等 | 『高等学校 新地理A』(帝国書院) | | 副教材 | 『新詳高等地図』(帝国書院) | |
| 学習の目標 | | | | | |
| 現代世界の地理的な諸課題について地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 | | | | | |
| 学習計画 | | | | | |
| 学期 | 学習内容 | | 学習のねらい | | |
| 前期 | 1章 地球儀や地図からとらえる現代世界 | 球面上の世界と地域構成について地表面のとらえ方や世界地図の図法を通して理解する。 国際化の進展の中で、交通・通信によってより一層、結びつきを強める世界について理解する。 | | | |
| | 2章 人間生活を取り巻く環境 | 山地・平野・海岸・氷河といった様々な地形の中で人々がどのように適応して生活をしているか理解する。 熱帯・乾燥帯・温帯・寒帯など様々な気候の特徴を理解し、人々がその中でどのような暮らしをしているか理解し、その人々の生活の工夫を考える。 | | | |
| 後期 | 3章 世界の諸地域の生活・文化 | 2章でみた地形・気候の特徴を、3章では中国・韓国・東南アジア・インド・中央アジア・サハラ以南のアフリカ・ヨーロッパ・ロシア・アメリカ・ラテンアメリカ・オーストラリアといった地域の地誌的な側面から理解する。 | | | |
| | 4章 地球的課題と私たち | 地球規模の諸課題である地球温暖化・エネルギー資源問題・人口問題・食糧問題・居住問題などについて、複雑に絡み合う世界の現状とその解決法に向けてのアプローチを考える。 | | | |
| 観点別評価及びその配点 | | | | | |
| 観点 | 関心意欲態度 | 思考判断表現 | 技能 | 知識理解 | |
| 趣旨 | 授業に出席したうえで学習内容に関心を示し、意欲的に学習課題に取り組む。 | 比較、関連付け、総合し、再構成するなどの思考方法を駆使して、社会的事象の意味を考え、それを適切に表現できる。 | 資料を効果的に活用し、必要な情報を集めて読み取りまとめることができる。 | 学習内容を正しく理解し、知識が定着している。 | |
| 評価の方法 | 出席状況 授業態度・取組状況等 | 授業プリント 授業中の活動 課題等 | 授業プリント 授業中の活動 課題等 | 定期考査 その他 | |
| 配点(pt) | 200 | 100 | 100 | 600 | |
| 評価 | | | | | |
| 観点別評価の合計点(1000pt)により、10段階評価を行う。詳細および変更については授業時間中に連絡する。 | | | | | |
| 学習のアドバイス等 | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな地域の共通点と異なっている点に注目すること。 2. 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。 3. 学んだことを正確に理解する方法と態度を身につけること。 | | | | | |